

学位授与方針(ディプロマポリシー)

和歌山県立医科大学保健看護学部は所定の単位を修得し、以下の能力を獲得した者に学士（保健看護学）の学位を授与します。

1. 幅広い教養を身につけ、多様な文化や価値観を理解し、人々の尊厳や権利を尊重することができる。
2. 看護の対象となる人々と信頼関係を築くコミュニケーションができ、援助関係を形成することができる。
3. 看護の対象となる人々を、生活者として全人的に捉え、個人・家族や地域の健康課題を明らかにすることができる。
4. 看護実践に必要な知識や技術を習得し、根拠に基づく判断の上、健康課題の解決に取り組むことができる。
5. 保健医療福祉チームの一員として看護職や他職種・地域住民等と協働・連携を図るために主体的に行動できる。
6. 地域的・国際的視野で社会の動向とともに変動する多様な健康課題を捉え、看護の役割や課題を検討し、看護の発展に向けて創意・工夫することができる。
7. 看護専門職としての自覚を持ち、生涯にわたって主体的に自己研鑽や研究に取り組む自律的態度を身につけている。

教育課程方針(カリキュラムポリシー)

1. 教育課程編成

ディプロマポリシーに掲げる知識と能力を修得するために、「教養と人間学の領域」「保健看護学の基盤となる領域」「保健看護学の専門となる領域」の3領域の構成で、専門分野の枠を超えた横断的・統合的な教育を提供します。人々の生活に焦点を当て、保健・医療・福祉を包括的に学べる教育を行います。

2. 教育内容・方法

- 1) 「教養と人間学の領域」では、社会人として必要な自然科学、人文・社会科学および外国語に関する教養を修得できる教育を行います。また、医療人として必要な倫理観、共感的態度、コミュニケーション能力、ケアマインドを培えるよう、少人数グループによる課題解決型学習を含む教育を行います。
- 2) 「保健看護学の基盤となる領域」では、系統的に生体の構造と機能、病態、疾患の概念が理解できるとともに、問題解決能力と研究的思考の基盤を築けるような教育を行います。
- 3) 「保健看護学の専門となる領域」では、人間を理解し、あらゆる状況に柔軟に対応し、的確な判断能力と問題解決能力を養える教育を行います。また、臨地実習においては、保健看護の実践能力を獲得できる教育を行います。さらに、地域との交流および国際交流を積極的に行い、広い視野をもち、地域社会および国際社会で活躍できる人材となれる教育を行います。

3. 学修成果の評価方法

シラバスに記載された学修目標について、授業中の小テストや発表、レポート、筆記試験、実技試験などの多面的な評価方法により、それぞれの到達状況を客観的に評価します。